



# ジャンボ通信

蕪崎市立甘利小学校 《学校だより》

大草町上條東割 TEL. 22-0483

発行責任者 校長 長田 英和

平成29年5月24日NO. 4

## 凡事徹底 あいさつ編 あいさつの極意は・・まず自分から 目指せ あいさつ名人



児童会のあいさつ運動

朝の登校時間に南宮神社の前の横断歩道で旗振りをしています。いくつもの班が横断しますが、その中でこの写真の有井優真くんの班の子供たちのあいさつは大変素晴らしいです。それは私より先にあいさつをしてくれるところです。

あいさつの極意は、自分から先にすることです。大きな声で、さわやかに・・・は2番目、3番目です。

こちらからあいさつしても、返してくれない人もいます。きっと何か嫌なことがあったまま学校に向かっているのだろうと思います。自分からあいさつをする子は、100%さわやかです。ですから、自分から先にあいさつができる子は、心が満たされているのです。

児童会本部の人たちが、玄関であいさつ運動を行っています。どちらが先にあいさつをするのか、そのことを意識して取り組むといい効果が期待できると思います。



## 陸上練習がはじまりました

6年生の活躍のために  
全職員が協力します。



6月8日の支会陸上記録会に向けて、6年生の練習が始まっています。6年生はそれぞれの種目の練習に全力で取り組んでいます。練習のため、毎日きれいなトラックや短距離走のラインが引いてあります。このラインは先生方が交代でみなさんの登校前に準備しているのです。この日は3年生の先生方でした。この写真を見て何かを感じてくれたら嬉しいです。



きれいに引かれたライン

日本語の中で一番美しい言葉は「ありがとう」という言葉だそうです。反対に日本語の中で一番美しくない言葉は何だと思いますか.....。

それは「当たり前」という言葉だそうです。私は初めてこの話を聞いたときはとしました。謙虚な気持ち、素直な気持ち、感謝する気持ちがなければ、人は成長しないし、心は成長しないと改めて考えさせられました。

何気ない日常の中にも、こうした「縁の下の力持ち」のような光景はたくさんあると思います。そういったことに気づく人になってほしいと思います。「当たり前」ではなく「ありがとう」それが、人間としてのベースになっていきます。

